



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴丸イ言

鹿児島県立鶴丸高等学校

〒890-8502 鹿児島市薬師二丁目1番1号

TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

4月の行事予定

Calendar table for April with columns for dates (1-30), days of the week, and activities. Includes '学年始業日' (School start) and '定期教育' (Regular education).

「かへらざる三年」を思う
3学年主任 池尻弥生
3月半ばの職員室、志望大学に合格し報告にやってくる卒業生たちの笑顔がはじける。握手をし、喜びを分かち合うとき、この瞬間を迎えようとする卒業生も我々教師もこまごまがらばらばらと泣く。改めよう。しかしながら一方では、今年合格に至らず、来年を期して新たなスタートを切る。決意を伝えるに大きな関心事である。しかし、大事なことではないか。これまでの3年間、何を学び、自分の中にどんな財産を蓄積してきたかということだ。たとえ今年うまくいかなかったとしても、3年間で得たべきものを獲得した生徒は必ず道徳を切り開いていける。ある生徒は、「1年生のころは、自分が東大を受験することなど考えてもいなかった。あのときのクラスメイトや先生方に出会って、彼は来年、再チャレンジをする」と語った。彼は来年、再チャレンジをする。卒業した生徒たちと過ごした3年の歳月は私にとって貴重な経験となった。日々成長する彼らを間近で見ながら思ったことを書き連ねたい。

2月21日、国公立大学前期日程試験を目前に控えた3年生の特別授業最後の日、教室に向かいながら思わず知らず肩に力が入る。3年間を共に過ごしてきた生徒たちと学びの時間を共有できるとともに緊張感を覚える。教室の黒板には既にその日の授業内容の解答が書いてある。そこに書かれた要約文を、その英文の内容全体が含まれていないという理由で修正すべきだという視点で解説をした。次の問題に移してしばらくすると、一人の生徒が手を挙げて、「先生、さっきの要約文ですが私はそれでいいと思います。私は少し驚いたが、すぐに心の中で思ったんですよ。来週か、発言をしたのはその要約文を書いた本人だった。自分の解釈を説明して、私の説明の納得のいかない点を指摘して、私の説明に緊張が走る。私は書きかえてきた要約文と英文とのずれを改めて指摘し、発言した生徒を納得させようとした。それでもその生徒は首をかしげる。授業の残り時間は限られており、その日は最後の授業で特別に話をしたいと考えていたことと言った。その先はあとで議論しよう。内納得のいく説明をしてやれなかった。申し訳ない。感じたが、同時に嬉しさも感じた。この瞬間を待っていたのだ。生徒が自分の考えに自信を持ち、我々教師に果敢に挑戦した瞬間だ。発言をした生徒は勇気を取り戻した。間違いはない。それでもその行動には、今までに蓄積してきた力という確固たる裏付けがあったのだ。

3年生がスタートした4月の学年朝礼で、生徒たちにこの1年間に描くべき軌跡を示した。部活動を引退するまで4月から6月、夏休みまでの10月から12月、そして二次試験までの1・2月。それぞれの時期をどう過ごすべきかを示し、最後にどう結ぶか。鶴丸の生徒が最後に到達すべき境地は「教師を超える」ことだ。本校に入学してくる生徒は、能力の面では既に我々教師を超えている。私は認識している。その能力が実力となって開花するかどうかは高校の3年間の過ごし方にかかっている。卒業した生徒たちと3年間を共にして、挑戦を得たこと、3年間を共にして自ら挑戦する姿勢が学べる。それは真の力を得ると言うことだ。日々が学習に妥協を許さず、粘り強く取り組んでいけば、ある段階で、それを感じる瞬間がある。おそらく生徒たちもそれを感えているであろう。この段階を経れば、そのあとは計りが鶴丸の生で飛躍を見せる。それは自分の考えを堂々と述べた生徒達、間違いなく教師を超える境地に達していた。

鶴丸高校は人が成長する上で恵まれた環境にあると言える。熱意と実力を兼ね備えて指導にあたる先生方、それぞれが秀でた人格や能力を持つ。切磋琢磨できる級友、そして充実した学校施設。しかし、これだけの環境に恵まれていても、日々を漫然と過ごしては得るものなど期待できない。1年生は、この1年間をどう過ごしてきたらいいのか。もし無為に過ごしたのなら、既に大きなものを失っている。2年生は、これまでの2年間に悔いがないだろうか。もし自分の今までの自信がなかったら、これからの日々には相当の覚悟が必要である。一人でも多くの生徒が鶴丸に身を置くことの本当の価値に気づき、もともと持っている力を正面から向かっていってほしい。机を並べる級友たちから学び、今年度の3年生は、耐震工事のため自習場所が教室に限定され、特別に放課後の教室使用時間を延長した。日を追うごとに4階の3年生のフロアは緊張感を増し、足音をたてることさえもはばかられるようになっていった。大方の生徒が部活動を引退し受験勉強に専念しはじめる6月、私は難関大を目指すとして本格的な受験勉強に取りかかる。後や休日にできる限り教室に勉強して、君が勉強する姿をみんなに見せてほしい。その姿に刺激を受ける人たちが必ず出てくるから。どちらかと言えば物静かだが、先頭立って周りを引っ張っていくというタイプではない。彼は、こう言った。「それだったら僕にもできそうす。その日から、放課後や休日の教室には黙々と勉強する彼が必ずあった。そして予想通り、彼が勉強する姿に触発され、俄然学習に燃える級友達が出てきたのである。勉強のクラスメイトもいたと聞いて、この鶴丸は勉強するところである」という有名なフレーズがあるが、鶴丸の最大の魅力は「鶴丸は勉強できる」ところだ」と思う。

第62回卒業式
3月1日(火)、第62回卒業生が挙行され、晴れてこの日を迎えた311名の卒業生が学舎を巣立っていった。「君たちの志が自分式辞では学校長より、人類に対する美しげな隣人に対する、人類に対する美しげな隣人であってほしい」という高みへ力強く飛び立ち、混濁とした社会に明るい光を灯す存在であってほしい」という卒業生の代表の原声で立った送辞に対して、いよいよ自分の足で立つ時。たとえ何きでも立ち上がり、自分たちの夢を引き寄せた。尚太君が当時代表の繁昌「世界に羽ばたく若鶴直く」「学ぶものを、人生を歩むことを期待する。」



正門のイワツツジと陽光桜

平成23年度定期人事異動が発表されました。転退職の先生方は次の通りです。

- 前田 光久 (教頭) 高校教育課 専事
福壽 辰 (国語) 種子島中央高校
徳川 佑幸 (数学) 再任用退職
濱崎 功 (数学) 再任用退職
東福 英朗 (理科) 川辺高校
名島 巖 (理科) 期限付退職
増岡 洋宣 (保健体育) 鹿屋農業高校
竹上 隆博 (英語) 志布志高校
川上 隆博 (英語) 総合教育センター

保護者による学校評価の結果報告
昨年12月、学校運営や教育活動について、成果や問題点を明らかにし、保護者のニーズを把握する。明らかにし、保護者のニーズを開く。保護者の皆様は、学校への関心・理解を深めていただくという目的を、保護者の皆様からいただいたご意見・改善策を参考に、来年度に向けて改善を図りたいと思っております。アポイントメント結果につきましては、本ホームページに掲載してあります。どうぞご覧ください。

- 新天地でのご活躍を心よりお祈り申し上げます。
福野 隆一 (事務員) 期限付退職
酒添 晋一 (事務員) 期限付退職
酒添 晋一 (事務員) 期限付退職
酒添 晋一 (事務員) 期限付退職
酒添 晋一 (事務員) 期限付退職
酒添 晋一 (事務員) 期限付退職